

学習者 附属小学校6年2組 34名  
指導者 山下千春

## 単元名 守ろう、自分やみんなの命！危機回避，防災プロジェクト

### 1. 単元の目標

防災のための安全なまちづくりを目指した活動を通して、地域の防災とそれに携わる人々や組織について理解し、自分たちの地域の防災の在り方について考えるとともに、自分たちの生活を防災の視点から見直し実践しようとするようにする。

### 2. 単元の評価規準


単元の評価規準		
A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
<p>①知識 地域の人々の命を守るため、地域の人々がそれぞれの立場や状況に応じて、互いに協力して災害の防止に努めていることを理解している。 (連携性)</p> <p>②技能 地域住民等の防災意識を捉えるために、アンケートによる調査を相手や場面、目的に応じた適切さで実施している。</p> <p>③探究的な学習のよさ 自分たちの生活と防災のあり方が密接に関わっていることの理解は、地域の防災とそれに関わる人々との関係を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①課題の設定 地域の防災の在り方や防災意識について、理想との隔たりから課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考えている。</p> <p>②情報の収集 地域における自然災害の状況や地域住民の防災意識を捉えるために必要な情報について、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりしている。</p> <p>③整理・分析 地域住民の防災意識を高める活動を進めるために、収集した情報や調査結果を比較したり、多面的に検討したりして、理由や根拠を明らかにして具体的な活動を決定している。</p> <p>④まとめ・表現 防災意識を高め、自分たちの生活を見直し、行動化を図ることに向けた自分の考えを、表現の目的に応じて表現方法を選択し、伝える相手を踏まえて分かりやすくまとめている。</p> <p>⑤振り返り・知の更新 単元で学習したことを振り返り、次の学習や日常生活につなげて考え、生かそうとしている。</p>	<p>①主体性・協働性 防災意識を高め、生活に生かす必要性を伝えるために、防災に関わる人々や友達などと協働して探究活動に取り組もうとしている。</p> <p>②自己理解・他者理解 地域の防災の在り方に関心をもち、自分の生活を防災の視点から見直したり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりしながら、自分の意思で課題を解決しようとしている。</p> <p>③社会参画・将来展望 自分と防災や関係機関とのつながりに気付き、防災に関する地域の活動に参加するとともに、自他の命を守るためにできることを考え行動しようとしている。</p>

### 3. 指導と評価の計画（70時間 別紙）

4. 本時の指導（2／70）

一人一台端末の活用と事後研を受けて修正した指導案

<p><b>本時のねらい</b></p>	<p>6年生の総合的な学習の時間で付けたい力を付けるための活動テーマ案について、学習内容テーマを決める時に大切にしたい視点をもとに思考ツール（マトリクス）を使って比較しながら整理することを通して、理由を明確にして選ぶことができる。考えることができる。</p>
<p><b>評価規準</b></p>	<p>6年生の総合的な学習の時間で付けたい力を付けるための活動テーマ案について、理由を明確にして選んでいる。考えている。</p>
<p><b>具体的な児童の姿</b></p>	<p>「最近地震や自然災害が多いから、防災の学習だったら、学んだことを家族や地域の人などより多くの人に伝える必要があると思う。誰かの役に立てるし、『伝える力』をさらに伸ばすことができると思う。」</p> <p>「別府にはAPUがあって外国人がたくさん住んでいるから、外国語の授業で学んだことを活かして、国際理解の学習をするのもいいなと思う。1クラスでは難しくても、学年全員で協力したら何か自分たちにもできることがあると思う。」</p>

時間	児童の活動	○指導及び・留意点 ◎評価（方法） ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 本時のめあてを確認する。	<p>○本時の見通しをもつことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に決まった、6年生の総合で付けたい力を付けるための活動テーマ案について、理由を明確にして決めていくことを確認する。</li> </ul>	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>めあて</b></p> <p>6年生で付けたい力を付けるための活動テーマを選ぼう。考えよう。</p> </div>			
5分 15分	<p>2. 学習内容テーマとそれを決めるための視点をマトリクスに位置付ける。(個人)</p> 	<p>○まだ学習したことのない探究課題と前時に決まった今年の総合で付けたい力を付けるために大切にしたい学習内容テーマを選ぶ視点をマトリクスに位置付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、個人でロイロノートの思考ツール（マトリクス）を使い、視点をもとに学習内容テーマを選んでいく。</li> <li>・「生命」や「国際理解」など、そのテーマでどのような学習ができるのかをイメージ出来ず、自分の考えをもつことが出来ていない様子が見られたら、そのテーマでどのような学習が考えられるかを全員で出し合い共有する時間を設定する。</li> <li>・なぜそれを選んだのか、具体的に理由も書くようにする。</li> </ul>	ロイロノートの思考ツール（マトリクス）



〈予想される児童の考え〉

	自分の力を高められるか	人の役に立つか	自分たちの力でできるか	身近な課題か
国際理解	○			○
福祉	○	○		
安全	○	○	○	
防災	○	○	○	○
生命	○			○

15分  
20分

3. 個人の考えを全体で共有し、グループでそれをもとに根拠をもって話し合う。



○個人で考えたことをロイロノートで共有する。それをもとにグループ内で自分の考えを出し合い、思考ツール（マトリクス）を使って根拠をもって話し合うようにする。

・班ごとに、具体的な理由を話し合いながら、視点に合う学習内容テーマ案を選び、ホワイトボードに位置付けるようにする。

・必要に応じて出てきた意見を付箋に書いてホワイトボードに貼るようにする。（視点に合う理由は青い付箋・視点に合わない理由は赤い付箋に書く）

◎6年生の総合的な学習の時間で付けたい力を付けるための活動テーマ案について、理由や根拠をもとに話し合っている。 〈発言分析〉

ホワイトボード  
思考ツール

15分

4. グループで話し合ったことを出し合い、全体で共有する。

○グループで1～2個に焦点化できた学習内容を出し合い、全体で話し合いながら焦点化するようにする。

→各グループで○が多くついた学習内容を出し合い、なぜそう考えたのか理由や根拠を説明する。

→2組の案として、どの学習内容が良いか選ぶようにする。

掲示用思考ツール  
（マトリクス）

1時間で全体共有まで行うには、時間が足りなかった。児童の様子を見ていると、自分の考えをもとにグループで十分に話し合う時間が必要であったため、予定していた全体共有の場は、次時に設定する。次時では、グループでの話し合いをもとに全体共有を行い、その結果をもとに2組としての活動テーマ案を選ぶように修正した。

5分	5. 本時の振り返りを行う。	<p>○本時の振り返りをノートにまとめるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時、自分が考えたことや友だちの話を聞いて考えたことを振り返り、今後にどう繋げていけばよいかを考えるようにする。</li> <li>・本時に選んだ考えた学習内容テーマ案でどのような活動ができそうか、またその活動でどのような力が付きそうかも考えるようにする。</li> </ul> <p>〈予想される児童の振り返り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近地震や自然災害が多いから、防災の学習だったら、学んだことを家族や地域の人などより多くの人に伝える必要があると思う。誰かの役に立てるし、『伝える力』をさらに伸ばすことができると思う。</li> <li>・別府には APU があって外国人がたくさん住んでいるみたいだから、外国語の授業で学んだことを活かして、国際理解の学習をするのもいいなと思う。1クラスでは難しくても、学年全員で協力したら何か自分たちにもできることがあると思う。</li> </ul> <p>◎6年生の総合的な学習の時間で付けたい力を付けるための活動テーマ案について、理由や根拠をもとに話し合ったことを記述している。</p> <p style="text-align: right;">〈記録分析〉</p>	
----	----------------	--	--

## B1 個に応じる学習場面

☆1人1台端末の使用は効果的であったか

○成果

- ・グループでの話し合いに入る前に個人の考えを一度全体共有した際、クラス全員分の考えをテレビ画面に一斉に映し出せたことで、友だちの考えが一目で分かった。
- ・早く○×△を書いた児童は、シートを拡大してそのように考えた理由も隙間に書きこむなど、自分で工夫しながらシートを活用していた。

▲課題

- ・個人で考えをもつ際には1人1台端末の使用が効果的であったが、グループでの話し合いやクラス全体で考えをまとめる際には、班に1つのホワイトボードや模造紙の使用が効果的であった。付けたい資質・能力や児童の目的に合わせて、使い分けることが大切である。